

## 第1回江南市水道事業経営審議会 会議録（概要）

会議名：第1回江南市水道事業経営審議会

開催日時：平成31年4月9日（火） 午後2時から午後3時30分

場所：江南市役所 第3委員会室

委員：出席委員9名

福田 三千男（市議会議員）

尾関 昭（市議会議員）

今井 節子（団体代表）

浅野 敏夫（団体代表）

小川 隆史（団体代表）

樋口 隆久（団体代表）

横山 幸司（学識経験者）

奥村 真也（学識経験者）

鹿島 クミ子（公募委員）

事務局：古田（水道部長兼水道課長）

酒匂（水道課主幹）

加藤（水道課工務グループリーダー）

安田（水道課配水・維持グループリーダー）

磯部（水道課経営・業務グループリーダー）

三輪（水道課経営・業務グループ）

吉田（水道課経営・業務グループ）

経営戦略策定支援受託業者 2人

傍聴人数：0人

資料1 江南市水道事業の経営の見通しとあり方について（答申）

資料2 江南市水道事業経営戦略（案）

資料3 江南市水道事業経営審議会開催予定

## 1. 開会

○事務局：異動職員の紹介

## 2. 報告

### (1) 答申書について

○事務局：・3月の市議会において、一般会計からの出資を財政シミュレーションに含め、当審議会に示すよう要望があった。各種計画の作成時には事業に必要な財源は、適宜協議・検討しているものだが、改めて財政当局に確認したところ、(市の) 厳しい財政状況の中、出資は難しいとのことだったため、今回の審議会にて出資金等を見込んだ財政シミュレーションの提示は行わないこととした。

・資料1について説明

○会 長：この答申(案)にて、答申をしてよいか。

(委員同意)

## 3. 答申

○会 長：「平成30年7月2日付30江水第96号で諮問されましたこのことについて、当審議会において慎重に審議した結果、別添のとおり答申します。」

「答申、江南市水道事業の経営の見通しとあり方について審議した結果、今後も安全な水の安定供給を持続するため、実施しなければならない投資(施設及び管路の耐震化や更新)を計画的に推進し、その財源を確保するためには、コスト縮減などの経営努力を継続するとともに、水道料金の最適化や企業債の発行による資金調達が必要であると判断した。水道料金の最適化については、将来にわたり安定的な経営が可能となり、水道事業の基盤強化、及び水道事業の持続に資することができる料金体系を構築するとともに、世代間を含めた使用者の負担の公平性などにも配慮することが必要である。」

## 4. 市長あいさつ

○市 長：「江南市水道事業経営審議会の審議会委員の皆様には、本日、答申をいただきまして、誠にありがとうございました。また、皆様方におかれましては、昨年7月の諮問以来、約10か月にわたりまして、大変長い間の審議を賜り、本当に厚くお礼を申し上げます。皆様もご承知の通り、昨年12月には、水道法の改正がありました。日本の水道事業における様々な問題には、人口減少に伴う水需要の減少、水道施設の老朽化、職員数の減少等がありまして、将来にわたり、安全な水の安定供給を維持するためには、水道事業の経営基盤の強化が必要であるため、所要の措置を講じるというものでございました。」

江南市水道事業においても、水需要の減少に伴い、給水収益が減少しており、また、水道施設の老朽化・耐震化対策のため、平成 29 年度より基幹管路更新工事を開始したところであります。今後は、今回水道事業経営審議会により頂きました答申を基に、水道事業経営戦略を策定し、水道事業の経営基盤強化を図って参ります。本日はこの後も審議を頂くと聞いております。引き続き江南市水道事業の発展のために、ご支援、協力を賜りますようお願いを申し上げます。答申に対しましてのお礼のご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。」

- 会 長：せっかくの機会なので、市長に意見等あれば話してほしい。
- 委 員：江南市は、水道料金が他市町村と比べてかなり安く、住みやすい町である。全国的に人口減少と管路更新の必要性があるため、他市町村の水道料金も今後上がると思うが、その中でも、住みやすい町江南という位置付けで、他市町村と比べて安い水道料金を維持してほしい。
- 市 長：非常に嬉しいことで江南市の特徴でもあるが、地下水は少し掘れば出る位、豊富と聞いている。しかし地盤沈下の問題があり、市の環境及び市民の生活を脅かしてはいけないので、県水の受水も必要となってくる。
- 委 員：近年、地震等すごく多いため興味を持っているが、非常事態の時には、まず水が大事。お金はかかるが、(管の耐震化に)取り組んで欲しい。(市民の)安全が第一優先と思う。
- 委 員：私共は電力事業であり、安定的に電気を届けることに頑張っているが、水もライフラインとして非常に重要な組織である。今回、審議会に参加させて頂いたことを光栄に思っている。(耐震化の必要性を委員が)真摯に受け止め、意義のある審議ができていると実感している。
- 委 員：県水の受水割合は、4割から6割に移行されることとなっているが、今後の全体的な水道の使用量自体、顕著に下がるため、県水受水量を少しでも抑制すると経営への影響も少なくなると思う。
- 委 員：江南市の水はおいしい。(給水装置に)器具を付けたり、活性炭を使う人がいるが、必要はないと思う。(飲料用に)水を販売する人もいるが、必要はないと思う。
- 委 員：江南市の水は、愛知で1番おいしいと聞いている。主婦目線からすると、水は命の母であるので、大切にしてお使って頂きたいと思う。
- 委 員：9月議会に、水道料金の改正を上げるとのことだが、震災や災害に対する備えを行うためということも含めて、値上げはやむを得ないということ、私からも市民にPRをしたいと思っている。
- 委 員：審議会に参加し改めて水の大切さ、(水道事業)の力で毎日当たり前に水を使うことができると実感した。

○市 長：蛇口をひねれば水が出るという当たり前のことに感謝し、今後の動向をしっかり見定めながら、またご意見を頂きたいと思う。

○会 長：（審議会では、）料金改定に言及した。首長や議会の中には、自らの任期中には上げない、改定を避けるというところもあるが、江南市の市長や市議会議員には敬意を表したい。一方で市民の（水道料金の）負担感をいかに軽減するかということは非常に大事であり、審議会にて審議を重ねた結果、非常に良い案を考えることができた。今後、多くの事業者が料金改定に迫られる中で、ひとつの先進モデルを示すことができたと思う。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・休憩・・・・・・・・・・・・・・・・・・

## 5. 議題

### （1）経営戦略（案）について

○事務局：経営戦略（案）について説明。投資計画等であるが、前回まで審議してきた中で新たに平成 31 年度の予算が議決され、今後、平成 30 年度決算値も固まってくることから、公表時には、数値等変更になることについて、理解いただきたい。

## 6. その他

### （1）今後の予定について

## 7. 閉会